



ベトナム

日系企業進出数：820社
面積：329,247平方キロメートル（日本の0.88倍）
人口：8,616万人
一人あたりのGDP：1,040.4ドル（2008年）

基礎的経済指標

実質GDP成長率 6.2%（2008年）
経常収支（国際収支ベース）－84億3,000万ドル（2008年）
貿易収支（国際収支ベース）－127億8,200万ドル（2008年）
為替レート（期中平均値、対ドルレート）16,302.3ベトナム・ドン（2008年）
【出所】ジェトロ

経済動向

2009年8月18日、ベトナム自動車工業会（VAMA）は、2009年7月の自動車販売台数が、前年同期比26%増加の10,839台（商用車5,338台、乗用車3,191台、SUV/MPV2,310台）であったと発表した。（2009年1月～7月の自動車販売台数は、前年同期比25%減少の58,748台）自動車販売台数が増加に転じた理由として、2009年5月から自動車登録料および付加価値税が50%引き下げられたことが上げられている。

株式会社玉吉製作所

ベトナムで3次元データを生成

株式会社玉吉製作所は富士宮市に本社工場、栃木県大田原とベトナムに工場を持つ板金メーカーである。3次元設計・製作による筐体部品等を医療機器、半導体製造装置、弱電・家電業界に提供している。

吉田弘宣社長は、90年代に米国がITブームで沸いていた頃、米国のサンノゼに工場視察に行った。メキシコ人、ブラジル人、ベトナム人など様々な国籍の人々が働く現場があり、米国の多国籍化を実感した。そこで吉田社長が見た光景は、ベトナム人達がいる持ち場は活性化しているということだった。

その後、何年かして、玉吉製作所で人材に困ったおり、ベトナム人研修生の受け入れを始めたのである。

ベトナムへの進出は2004年1月に決めた。当時のベトナム ハノイは、日系でも大手や準大手の進出が多く、従業員100名以下

の企業が進出するにはまだ多くの困難があった。初めから板金工場を目指すのでは投資が掛かりすぎるので、ハノイにCAD/CAMのデータセンターを作った。玉吉製作所では板金加工の曲げ加工も含めて、CAD/CAMによるデータでの製作を行っている。レーザー加工機、タレットパンチプレス、バンダー加工のすべてがデータ出力によるものである。CAMデータの作成は時間がかかる工程であり、これをベトナムで行うことで低コスト化を図った。実現に向けて、ベトナム人に四原則（事実・原因・対策・フォロー）を徹底することで、技術の定着と応用力を養った。

現在、CAD/CAMの設計の中心は、ベトナム人女性エンジニアにより加工データを生成するスタイルを確立した。これにより玉吉製作所では、お客様から図面を頂くと、それをベトナムに転送する。お客様から預かつ

た2次元データは、そこで3次元化され、データが生成される。吉田社長の構想は現実になった。

次に吉田社長はベトナム工場の建設に取り掛かった。しかし、大手ゼネコンにかけあっても思いえがくような絵にならず、工業団地への入居の難しさなどの問題が立ち上がった。吉田社長は、それらの問題の解決策としてレンタル工場を作るという解決策を考え出した。また、他のベトナム進出を考えている中小企業向けに、別会社でレンタル工場を工業団地内に建設した。さらに中小の異業種を誘致することにより団体交渉、情報交換、認知度の向上など多くのメリットが生まれた。

ベトナム進出を果たした中小企業の実験者として、玉吉製作所はベトナムの経済発展に貢献したいと考えている。

会社情報（日本本社・海外事務所）

会 社 名	株式会社玉吉製作所	エミダス 会員番号	72254
住 所	静岡県富士宮市外神147		
電 話 番 号	0544-58-1501	F A X	0544-58-3380
代 表 者	吉田弘宣		
海外事業所名	Tamayoshi Vietnam Co.,Ltd		
住 所	FB5 Fuji Precision Park, Yen Phong Industrial Zone, Yen Phong Dist.,Bac Ninh Province,Vietnam		
代 表 者	吉田弘宣		
設 立	2004年		
従 業 員 数	30名		
電 話 番 号	+84-241-3689-330	F A X	+84-241-3689-330
経 営 内 容	精密板金部品の加工及び組立、3次元板金設計。		
製 品 種 類	精密板金部品、医療機器、半導体製造装置		



ベトナムによるベトナムでのCAD/CAM設計